

前向きに挑戦する福井の企業を応援します

F-FACT

ファクト > Fukui advanced companies' try

[特集] ニューノーマル時代の企業動向
～福井県内の動き～



Vol. 48



公益財団法人 ふくい産業支援センター

ニューノーマル時代の企業動向、福井県内の動き

新型コロナウイルス感染症感染拡大が長引く中、新たな商品開発・サービスを展開したり、オンラインでの販促活動を行う企業が増えています。今号ではこうした活動を行う企業事例を、例を絡めながら紹介していきます。

CASE 1 眼鏡づくりの技術を活かし、アフターコロナ時代を展望

眼鏡部品の製造販売に携わる、株式会社ササマタ。コロナ禍に苦しむ中で、昨年、眼鏡づくりの技術を活かしオリジナルマスク『ZiBi』を開発し、ECサイトによる直販につなげました。アフターコロナを見据えた開発の経緯を、営業部企画開発部長の大橋嘉夫氏と営業部の小須田英氏に伺いました。



同社HPはコチラ! ECサイトはコチラ!



営業部 小須田 英 氏



営業部企画開発部長 大橋 嘉夫 氏

DATA
株式会社ササマタ
所在地: 鯖江市中野町49-7
代表者: 岡本 正治 氏
事業内容: 眼鏡部品の製造販売
TEL 0778-51-0511

眼鏡部品の技術を活かし、アフターコロナ時代を展望

長引くコロナ禍の影響で、大きな打撃を受けた眼鏡業界。同社も眼鏡部品の売上が激減するなか、昨年、大橋氏は社長直轄プロジェクトとしてマスクの企画開発を一任されました。

「すでに多彩なマスクが出回っていて、正直なせ今、何周も遅れてうかがいマスクをつくるのかと思いました」と振り返る大橋氏。しかし、開発に先駆けた調査で「マスクで耳の後ろが痛い」というクレームの多さに気づきます。「当社が手がけるノーズパッ

ドやクリングスなどの眼鏡部品は、「かけ心地」にこだわりの人間工学に基づいて設計した。マスクも「かけ心地」に重点を置いて開発しようと考えました」と語ります。

大橋氏は、ヒモやゴムで固定せず、眼鏡のように「耳と鼻」でかけるマスクを提案。『ふくい逸品創造ファンド事業』も活用し、開発を進めました。当初は、真ちゅうを加工したマスクを試作しますが、「折り畳めず、携帯できない」と頓挫。試行錯誤し、左右の耳にかけるペアのテンブルと生地を組み合わせて辿り着きます。試作品を社員に

モニターしてもらい、太さや長さなどを何度も調整。マスク生地は越前市の縫製会社に依頼し、約半年かけてオール福井のマスクづくりを追求しました。

さまざまな視点を入れ、ECサイトでの直販も

マスク開発と並行し、11月には大手クラウドファン



(上)「かけ心地」を追求し、幾度も試行錯誤を繰り返して。
(下)簡単に着脱できる「ZiBi」。ピアスや眼鏡との併用も。

ディングサービス『Make a ke』での掲載を目指して、打ち合わせも始まりました。プロジェクト掲載にあたり、「かけ心地」に加え、「日本一の眼鏡産地鯖江が発信すること」「ピアスの邪魔をせずお洒落を楽しめる」こともアピール。今までになかった新しい発想が話題を集め、プロジェクトの支援金は1,000万円を超える大反響

に。また、支持者の半数以上が女性という結果になりました。「ファッション性を打ち出したのは、ロゴマークなどを手がけた女性デザイナーからのアドバイス。つくる側のこだわりだけでなく、さまざまな人の視点を取り入れたことが良かった」と小須田氏。クラウドファンディングの成功で、「なにより、当社の名前を全国に広く知っていただけ」と微笑みます。その勢いを引き継ぎ、今年5月には、ECサイトを本格的に立ち上げました。

アフターコロナ時代へ 発想力と結束力で挑む

眼鏡部品とマスクという意外な結びつき。それを実現したのは、同社のものづくりの姿勢です。

「ものづくりは、当社の原点。創業時の社名笹又眼鏡株式会社から株式会社ササマタにしたときから、眼鏡部品だけでなく新しいことをやっていた」という意向がありました。実際、これまでに医療関係やウェアラブル端末部品など、眼鏡製造の技術を活かした多様な製品を提供。「かけ心地」を重視した技術で、「ササマタに言えば何とかなる」と業界内で認知され、新規分野開拓につながっています」と胸を張ります。



テンブルを生地のホールに差し、サイズを調整する仕組み。現在、特許出願中です。

現在、マスク販売は樹脂&チタン製共に好調に推移。夏向けの生地や新色の発売も行っています。「新しい生活様式でマスクがあたりまえになるなか、ヒモやゴムじゃない選択肢として、かけるマスクがニュースタンダードになることを目指しています」と小須田氏は意気込みます。「マスクの開発で社内モニターをしたとき、社員との一体感を感じました。試作時には、生産部と密に打ち合わせ、スムーズな連携プレーができました。こうした体験が得られたことも大きい」と大橋氏。ピンチをチャンスに変えた発想力と結束力で、アフターコロナ時代を見据えます。

CONTENTS

- 1 ニューノーマル時代の企業動向
～福井県内の動き～
【企業事例①】株式会社ササマタ
- 3 【企業事例②】Japan Travel敦賀店
- 4 【企業事例③】NPO法人ふるさと福井サポートセンター
- 5 【企業事例④】a.n.d.wedding
- 6 【企業事例⑤】コーチングフォレスト
- 7 【企業事例⑥】資開花亭
- 8 【企業事例⑦】有井上葉匠
- 9 ふくいDXオープンラボを開設しました!
- 11 よろず支援拠点 経営Q&A
- 12 福井ベンチャーピッチ登壇経験者インタビュー
- 13 今月の注目企業 小浜海産物株
- 15 こんにちは! FOIPです
- 16 グッドデザインシンキング
- 17 総合相談
- 18 DX導入事例のご紹介
- 19 インフォメーション
- 21 新スポット巡礼

CASE 3

“転職なき移住”は進むのか、移住と空き家問題



同社HPはコチラ!

平成24年に設立されたNPO法人ふるさと福井サポートセンター(以下、ふるさぼ)では、空き家の利活用を進めるため、活動を続けてきました。コロナ禍で移住・定住が促進されるといわれている中、活動にどのような変化と影響を与えたのか、代表の北山大志郎氏にお話を伺いました。



代表 北山 大志郎 氏

DATA
NPO法人
ふるさと福井サポートセンター

所在地: 三方郡美浜町木野21-4-17
代表者: 北山 大志郎 氏
事業内容: 空き家マッチング支援、
空き家対策 など
TEL 050-3565-5782



同社は、空き家見学ツアーも行っています。

移住と空き家問題の関係性とは…
建設業を営む北山氏は空き家の解体を行うことも多く、利用できるものを解体してしまふことに疑問を抱いていました。残せるものは残していきたいという考えのもと、ふるさぼを設立。ふくい産業支援センターの分野展開スタートアップ支援事業を活用し空き家管理データベースを構築するなど、様々なノウハウを蓄積してきました。移住を考える際には仕事と住まいの二つを考えなければなりません。「テレワークなどが進んだ中、仕事という側面のハードルは少しずつ下がってきていますが、住まいの方に問題があると考えています」と北山氏。その背景に

「空き家予備軍」の存在があります。これは単身高齢者世帯が所有している持ち家などのことで、所有者がどのように持ち家を活用していくか、決断できないまま空き家となり、時が過ぎ、利用不可能となってしまう。「移住のニーズは確かに高まっていますが、住まいがなく諦めるといふケースも実際にあります。移住を促進すること、空き家への対策、この両輪をしっかりと回していかなければいけない」と北山氏は語ります。

コロナ禍による影響、移住促進の課題は人材育成
「コロナの影響は非常に大きかった。県外に住む空き家所有者が帰省できないという状況になり、アプローチのしようがない状況になりました」と北山氏は振り返ります。こうした状況の中、LINEのアカウントを開設するなど、コロナ禍でも相談対応できる体制に切り替えました。他にも新しい取り組みをスタート。現在、移住を促進していくため、各自自治体で「移住サポーター」の設置が進んでいます。しかし、どのよう



①所有者は動かない スキルアップ講座の様子。

CASE 2

コロナ禍でオンラインバスツアーを企画 参加者と現地の人を繋ぐ



同社HPはコチラ!

コロナウイルスの感染拡大が長引き、旅行に行きづらい状況の中、Japan Travel 敦賀店では、オンラインバスツアーを企画しています。滝田隆雄氏にオンラインでのバスツアーの利点や課題、また今後の展望についてお話を伺いました。

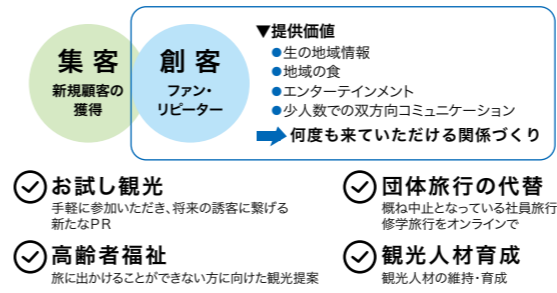


滝田 隆雄 氏

DATA
Japan Travel 敦賀店

所在地: 敦賀市三島138-1-3
代表者: 滝田 隆雄 氏
事業内容: 海外旅行・国内旅行の企画、
オンラインツアーの企画
TEL 0770-47-6617

オンラインバスツアー「将来のリアル誘客に繋げる」のテーマは



**コロナ禍で需要が激減
オンラインバスツアーに挑戦**
「新型コロナウイルスの感染拡大により、旅行・観光の需要は激減しました。何か手を打たなければいけないという状況の中、オンラインでのバスツアーを企画しました」と滝田氏。ふくい産業支援センターのふくい創業者ゼミを通じて知り合った仲間たちと計画を進めていきました。「オンラインツアーを行っていたところ、他にもありませんでした。専用のHPを作っているところはありませんでした」。滝田氏は企画と同時進行で直

接申し込みできるHPも立ち上げ、昨年10月にツアーを計画。当初は思い通りにはいかず、集客に苦労。以降はオンラインバスツアーをやめようと考えていたそうです。それでも、周囲の人々からの開催してほしいという声もあり、新春版として1月に氣比神宮のオンラインバスツアーを実施したところ、27人の参加者が集まりました。これを受け、オンラインバスツアーを継続して開催しています。「今後は、福井県の17市町村全てのオンラインバスツアーを作りたい」と滝田氏は展望します。

**バスツアーを通じて
人と人を繋ぎ、
地域の課題解決にも**
「観光地にはそれぞれに観光産業に関わる人がいます。オンラインバスツアーの狙いは参加者と現地の人を繋ぐこと。あくまで、実際に観光してもらおう前の入り口の商品だと思っています」とのこと。オンラインバスツアーはコロナ後のリアルな誘客に繋げる



3月に開催したオンラインバスツアーの様子。

CASE 5

コロナウイルス感染拡大により、 企業研修・セミナーを完全オンライン化



同社HPはコチラ!

人材育成研修やコンサルティング事業を手掛けるコーチングフォレストは、コロナウイルスの感染拡大を受け、セミナーや研修の開催をオンラインに切り替えました。代表の林美里氏にその過程での苦労やオンラインで行うメリットなど、詳しくお話を伺いました。

DATA

コーチングフォレスト

所在地:福井市木田3丁目3113-2 2F
 代表者:林 美里氏
 事業内容:企業人材育成研修と女性活躍推進のコンサルティング、商品/サービス開発及びプロデュース、シェアオフィス事業
 TEL 0776-87-0100



代表 林美里氏



セミナー配信の様子。場所を取らずセミナーを行えるのもメリットの一つです。

始めたころは、機材や環境を整える苦労が大きかったよ
 の林氏は振り返ります。
 「県外の顧客も多かったの
 たので、いち早く感染拡大の
 被害を感じ、福井ではまだ感
 染がそれほど拡大していな
 かった4月ごろにはセミナー
 や研修をオンラインに変更す
 ることができました」と代表
 の林氏は振り返ります。
 「県外の顧客も多かったの
 たので、いち早く感染拡大の
 被害を感じ、福井ではまだ感
 染がそれほど拡大していな
 かった4月ごろにはセミナー
 や研修をオンラインに変更す
 ることができました」と代表
 の林氏は振り返ります。

首都圏での感染拡大を 受け、いち早く オンラインに切り替え

2016年、有限会社社林商
 事の研修事業部としてスタ
 トしたコーチングフォレス
 タ。新型コロナウイルスの感
 染拡大当初は、開催を予定し
 ていた企業内研修や団体での
 講演会は軒並み中止となりま
 した。「県外の顧客も多かつ
 たので、いち早く感染拡大の
 被害を感じ、福井ではまだ感
 染がそれほど拡大していな
 かった4月ごろにはセミナー
 や研修をオンラインに変更す
 ることができました」と代表
 の林氏は振り返ります。

受講者層にも変化、 女性の活躍を支える存在に

「コロナウイルスの感染拡大
 により、セミナーの受講者層
 にも変化がありました」。林
 氏によると、以前は顧客の7
 割が企業でしたが個人の顧客
 が増え、現在は企業・個人が
 5・5の割合に変化。また、

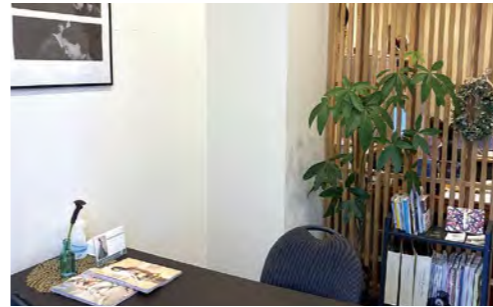
当初は結婚式のキャンセル
 や延期が相次ぎましたが、現
 在は何かしらの形で式を行う
 という流れになってきている
 そうです。「ただ、完全に元
 には戻らないと思っています
 す。今後、結婚式は両家の顔
 合わせ、両家を結びつけるも
 のという意味合いが大きくな
 るのでは」と大嶋氏。「こう
 した状況の中で、従来の式場
 ではできないサービスを考え
 ていくことが今後重要だと考
 えています。新郎新婦の想
 をくみ取り、両家の結びつき
 を強めていくようなサービ
 スを今後は考えていきたいで
 す」と大嶋氏は語ります。



オンラインと現地での受講を組み合わせた研修も行っています。

CASE 4

コロナ禍の中、 新しいウェディングの形を提供



同社HPはコチラ! 「letters」はコチラ!

新型コロナウイルス感染拡大で打撃を受けたウェディング業
 界。大規模な結婚式が敬遠される中、a.n.d.weddingでは新たな
 ウェディングサービスとして、「letters」、^{レターズ}「OCTVOWS」^{オクトバウズ}を開始
 しました。今回、代表の大嶋 歩氏に詳しくお話を伺いました。

DATA

a.n.d.wedding

所在地:福井市中央1丁目19-17
 グレイシア中央1F
 代表者:大嶋 歩氏
 事業内容:ウェディングプロデュース、
 アニバーサリー企画・イベント企画
 TEL 0776-97-8444



代表 大嶋 歩氏



「letters」動画撮影の一幕。

ウェディングプロデュース
 を主な事業として2015
 年に創業したa.n.d.
 wedding。ふくい産業
 支援センターの女性創業塾な
 ども活用し、事業を進めてい
 ました。しかし、昨年から始
 まったコロナウイルスの感染
 拡大の影響はウェディング
 業界にも及びました。「コ
 ナウイルスの感染拡大によ
 って、大規模な結婚式とい
 うのはほとんどなくなりまし
 た。両家のみで式を行うとい
 うケースが圧倒的に増えてま
 した。収束後もこの流れは戻ら
 ないかもしれません」と代表

感染拡大が長引く中、 影響は大きく…

の大嶋氏は語ります。こうし
 た状況の中、同社は新しい
 サービスを展開していきます。
 「letters」
 「OCTVOWS」を開始し
 ました。
 「letters」は結婚報
 告として動画を作成するとい
 うもの。新郎新婦の想いや意
 見を聞きながら、動画のス
 トリーを企画、撮影するとい
 うものです。フォトウェ
 ディングでは乗せることので
 きない声を乗せることができ
 るため、言葉やその想いを残
 すことができます。
 「OCTVOWS」は新郎新
 婦のこれからの指針と誓いを
 8つ、宣誓書として形にする
 サービスです。「形に残るも
 ので周囲の人々に感謝を伝え
 ることや、結婚の報告をして
 ほしいという想いから始めま
 した」と大嶋氏。「結婚とい
 うのは大きなイベントだと思
 うし、何かの形で周囲の人に
 伝えることで区切りをつけて
 ほしい」と大嶋氏は言います。

新しいウェディングサービス 「letters」 「OCTVOWS」

時代の流れを見据え、 事業を進めていく

当初は結婚式のキャンセル
 や延期が相次ぎましたが、現
 在は何かしらの形で式を行う
 という流れになってきている
 そうです。「ただ、完全に元
 には戻らないと思っています
 す。今後、結婚式は両家の顔
 合わせ、両家を結びつけるも
 のという意味合いが大きくな
 るのでは」と大嶋氏。「こう
 した状況の中で、従来の式場
 ではできないサービスを考え
 ていくことが今後重要だと考
 えています。新郎新婦の想
 をくみ取り、両家の結びつき
 を強めていくようなサービ
 スを今後は考えていきたいで
 す」と大嶋氏は語ります。



「OCTVOWS」の一例。8つの誓いを残します。

CASE 7

展示会にオンラインで出展、 コロナ禍でも県外に販路拡大を



同社HPはコチラ!

小浜で和菓子の製造・販売を行う有限会社井上菓匠（屋号：井上耕養庵）は、2021年のスーパーマーケット・トレードショー（以下、トレードショー）にオンラインで出展しました。首都圏の展示会に現地に足を運び、出展するのが難しい中、オンラインで出展した手ごたえや、現地での出展との違いなど、井上賀雄氏に詳しくお話を伺いました。



井上 賀雄 氏

DATA

有限会社井上菓匠

所在地：小浜市南川町9-10
代表者：井上 耕一 氏
事業内容：和菓子の製造・販売、喫茶スペースの運営
TEL 0770-52-0199



同社の看板商品「葛ようかん」。若狭小浜の名物です。

昭和21年に創業、和菓子の製造・販売を行ってきた同社は、ふくい産業支援センターのブースを利用し、2017年、初めてトレードショーに出展しました。その後、継続して出展していくことで、県外への販路を拡大することができたそうです。「出展前までは、主に店舗の売上と観光地や県内への卸売りの2つが事業の柱でした。トレードショーに出展することで、県外への販売という3つ目の柱ができました。以前の状態でコロナ禍を迎えていたらどうなっていたか分かりませんが」と井上氏は言います。

継続してスーパーマーケット・トレードショーに出展、第3の柱に



リモートでの出展の様子。

2021年、オンラインでの出展
コロナウイルスの感染が広がる中、2021年のトレードショーにオンラインで出展することを決めた同社は、ただ商品を並べて、パソコンを置いておくだけでは上手くいかないと考えていました。そこで、現地のアルバイトの方を雇い、試食を配ってもらうことで、自社のブースに誘導、オンラインでの商談を進めるという流れを作りました。「決して特別なことをやったとは思っていませんが、オンラインで出展している方々の中でこういった形で出展している方は少なかつたと聞いていま

2021年、オンラインでの出展

「県外へ販路を広げていくことの副次的な効果として、自社HPでの売上も増えてきました。これも、県外での認知度が上がってきたからだと思います」と井上氏は分析します。これまでは、直接HPを訪れて購入につながることは少なかつたそうです。「これからも展示会などには積極的に出展していきたい。県外のスーパーマーケットのバイヤーさん、商社の方々に知ってもらえるよう努力していきたいです。そうすることで、HPでの売上も上がるという相乗効果が見込めるはず」と今後の展望をお話しいただきました。

自社のHPでの売り上げも増加、相乗効果を狙う
「県外へ販路を広げていくことの副次的な効果として、自社HPでの売上も増えてきました。これも、県外での認知度が上がってきたからだと思います」と井上氏は分析します。これまでは、直接HPを訪れて購入につながることは少なかつたそうです。「これからも展示会などには積極的に出展していきたい。県外のスーパーマーケットのバイヤーさん、商社の方々に知ってもらえるよう努力していきたいです。そうすることで、HPでの売上も上がるという相乗効果が見込めるはず」と今後の展望をお話しいただきました。

CASE 6

スマートレストラン福井を立ち上げ 飲食店のサービスに新しい形を



同社HPはコチラ!



スマートレストラン福井はコチラ!

新型コロナウイルスの感染拡大により、テイクアウトが主流になるなど、飲食業界にも変化をもたらしました。開花亭では、「スマートレストラン福井」を開始するなど、コロナ禍の中新しい取り組みを行っています。今回、代表の開発 毅氏にお話を伺いました。



代表 開発 毅 氏

DATA

合資会社開花亭

所在地：福井市中央3-9-21
代表者：開発 毅 氏
事業内容：料亭、レストラン事業、テイクアウト商品の販売、スマートレストランの運営
TEL 0776-89-1009



同社のテイクアウト商品のひとつ。

「国税収入が過去最高を更新したという発表や、景気は回復傾向にあるといった動向調査が示されていますが、実情としては飲食業界にとって依然厳しい状況が続いています」と開発氏。こうした状況がいつまで続くか先行き不透明な情勢の中、同社は「スマートレストラン福井」を開始しました。当初は自社単独のシステムとして運用していく構想でしたが、同じような状況にある飲食店の一助になればと、参加店を募集。全国に広がるフードデリバリーサービスをより福井県の飲食店に合った形で構築することにしました。

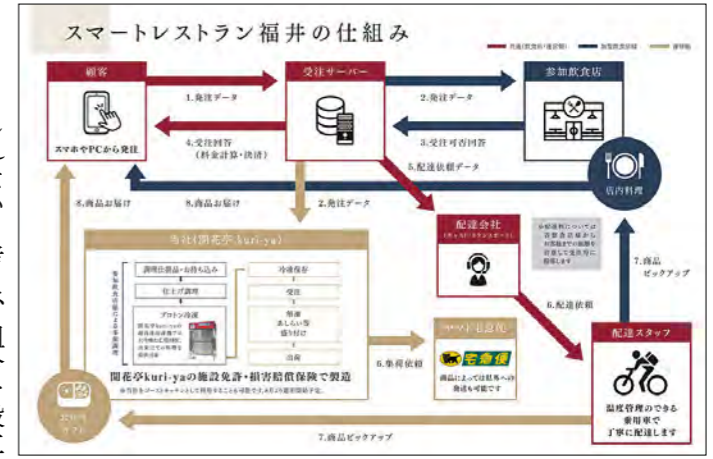
感染拡大による影響とスマートレストラン福井の立ち上げ

「コロナ禍は経営環境を厳しくしましたが、一方で、次の」
同社は今年1月に県内の有志とともに、「福井グルマンデイズ事業協同組合」も設立。ポストコロナ時代、新幹線開業などに向けて、新たな事業の準備を進めています。「世の中の仕組みがものすごくスピードで変化している現在、飲食店も新しい手をどんどん打っていかねばいけません。資金面や経営資源の面で、1社では限界があるかも

新たに組合を設立、自助努力を

時代への対応を推し進めるきっかけを生んでいます。スマートレストラン福井はコロナ以降の新常識を見据えた飲食店のDXを進めるとい意味合いも強いです。開発氏いわく、DXのひとつは、業務とデジタル技術を組み合わせること、業務の工数を減らし、効率化を図っていくこと。スマートレストラン福井を作り上げる過程で、業務フローの見直しや効率化にも繋がっていったそうです。

「県外へ販路を広げていくことの副次的な効果として、自社HPでの売上も増えてきました。これも、県外での認知度が上がってきたからだと思います」と井上氏は分析します。これまでは、直接HPを訪れて購入につながることは少なかつたそうです。「これからも展示会などには積極的に出展していきたい。県外のスーパーマーケットのバイヤーさん、商社の方々に知ってもらえるよう努力していきたいです。そうすることで、HPでの売上も上がるという相乗効果が見込めるはず」と今後の展望をお話しいただきました。



スマートレストラン福井の仕組み。

DX推進の支援拠点として ふくいDXオープンラボを 開設しました！

6月14日(月)にお披露目されたふくいDXオープンラボ(以下、DXラボ)
IT技術の導入支援、人材育成の拠点を紹介します。



ここ数年、IT技術を活用した生産性向上や新しい価値の創造に大きな注目が集まっています。その一方で、その導入効果や活用方法については具体的な情報が少なく、イメージの湧きにくい現状があります。そこで、福井県産業情報センタービル1階に開設されたDXラボでは、IT技術を活用した「学び」と「実践」ができる場としました。なお、発信するコンテンツは並行して動画でも配信するなど、企業のDX化を促すとともにラボ自体のデジタル化も進めていきます。

エクスペリエンスエリア

DX関連システム体験、県内企業のDX事例が紹介されているエリアです。実際に操作を体験することで、自社への導入のイメージを掴むことができます。展示物は定期的に更新されます。



他にも多数
体験できます！

展示システムを少しだけご紹介

- **メーターを自動読み取り&データ化 AIカメラで安価に実現**
IoT化されていないメーターにAIカメラを取り付けることで、既存のメーターを交換、改造せずにモニタリングが可能です。安価なAIカメラでも使用でき、アナログメーター用にも改造可能など応用範囲が広いです。



- **AceReal ARグラスによる遠隔指示**
ARグラスを通じて現場の映像や会話、手の動きなどを共有することで、熟練者が遠隔から現場指導や作業指示をすることができます。熟練の技術者が直接現場に行く必要がないため、技術者の負担を抑え、現場指導や技術伝承の効率性を高めます。

DX関連書籍は
閲覧・貸出が可能です！



エクスペリエンスエリア

ワーキングエリア

スタディエリア

入口

ワーキングエリア



専門家と事業者が協業できるフリーアドレスエリアです。DXを技術面からサポートするラボスタッフが常駐し、業務での活用の具体化や技術的な課題の克服に向けた取り組みの支援を受けることができます。AIやIoTの活用に関する内容はもちろんですが、「業務を効率化したい」「生産性を上げたい」「人材不足に対応したい」などの課題にITを活用できないか、という漠然としたご相談でもOKです。

専門家との相談はオンラインでご予約ができます。
詳しくはコチラ！



スタディエリア

動画配信機能を常設したエリアです。技術勉強会や研究会、DX専門家による定期相談会(月6回)をリアル、オンラインの双方で開催しています。



Doorkeeperにて勉強会や研究会の開催情報を発信しています。



DXラボのロゴについて

- 「中小企業のデジタル化、DXの実践に繋げていく空間」「人が集まる協業空間」という当ラボのコンセプトから、「方向」「移行」「推進」「空間」をイメージしたロゴです。
- カラーは、福井県の海の色、推進(水深)、希望のオレンジ色の構成。「深海から希望の光を目指して成長する」をイメージしたカラー構成になっています。



今更聞けない！

～DX(デジタルトランスフォーメーション)の定義とは？～

経済産業省では「企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとIT技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。それによって企業として安定した収益を得られるような仕組みを作ること。」と定義しています。DXラボではその第一歩として、デジタル技術の導入・活用から支援します。

いかがでしたでしょうか。DXラボはITを活用したいとお考えの方はもちろん、「どんなことができるか興味はあるが良くわからない」「DXについて知りたい」という方でも十分に活用できる支援体制を整えています。とにかく気になったり悩んでいたら、まずはDXラボに尋ねてください。電話やインターネットのお問い合わせからでも結構です。お気軽にご活用ください。

お問い合わせ

(公財)ふくい産業支援センター
新産業支援部 DX推進グループ TEL:0776-67-7416
開館時間:平日および第2・4土曜日(12/29～1/3を除く)の9時～17時

DXラボの
開館スケジュールは
コチラ



2度の福井ベンチャーピッチ登壇を経て、ビジネスを拡大し続けている株式会社ドラフト。代表取締役CEOの伊藤佑樹氏に福井ベンチャーピッチに登壇した経緯とその後についてお話を伺いました。

株式会社ドラフト



所在地 あわら市清王18-10
TEL 0776-73-4028
E-mail info@clubd.co.jp
HP https://corp.clubd.co.jp/



代表 伊藤 佑樹氏



Webでインタビュー動画を配信中です！

一 福井ベンチャーピッチに参加して、どうでしたか？
自分には関係ない、と最初は思っていた

福井で売り上げ伸ばそうってやっていると、全国の企業と接する機会があまりなくて、「ベンチャーピッチ」という言葉は知ってはいましたが、自分には関係ないのかなって思っていました。それに、資金を調達するのがベンチャーピッチの目的だろうと思いついていたところもあり、当時は大きな投資を求めていなかったですし、最初は「別に出なくていいや」と思っていました。



ですが、ふくい産業支援センターさんが福井ベンチャーピッチを始めたと聞いて、一回出てみたんですね。そうしたら、今まで知らなかった世界が広がったと言いますか、(アドバイザーから)もらえる言葉も違いますが、「そんなじゃダメだ。もっと目線を上げないと」みたいなことを言われて、大いに刺激を受けました。

また、福井ベンチャーピッチ登壇をきっかけに、野村證券とトーマツが主催しているモーニングピッチにも登壇することができました。ピッチでプレゼンすることで、いろんな会社の人とつながれて、商品を作る大手商社さんと今も取引をしているんですけど、そういった事業会社さんとビジネスするきっかけになりました。

一 福井ベンチャーピッチのメリットは？
なにより世界観が広がった

「目線を上げる」という言葉をいろんな人に言われたんですけど、なにより世界観が広がりましたね。もっと広い視点で見ないとビジネスって伸びていかないんだなという刺激ももらいました。

福井の企業って、良いものをたくさん持っていると思うんですよ。自分では

気が付いていないような自分たちの良さや強みに、福井ベンチャーピッチのメンタリングなどを通じて気づくことができたことは大きなメリットでしたね。

一 福井ベンチャーピッチを勧める理由とは？
やってみて！という気持ちがあるなら

福井ベンチャーピッチって、東京レベルのベンチャーピッチと比べても、遜色のない人がアドバイザーとして来てくれています。ベンチャーピッチ出たことがない人って、「大丈夫かな、俺…」みたいな感じで、正直ちょっとビビると思うんですよ。なんですけれど、「やってみて！」という気持ちがあるなら、僕はやってみていいと思います。

ふくい産業支援センターの人って、プレゼンの資料作りから、プレゼンの話し方、時間の使い方、質問の受け答えの仕方まで、何から何までしっかりサポートしてくれるんですよ。また、ピッチが終わった後って、VC(ベンチャーキャピタル)や金融機関から問い合わせがたくさん来るんですけど、そういう時も相談にもってってくれるんです。「ベンチャーピッチに挑戦したい！」という気持ちがあるなら、僕はやってみていいと思います。



ふくい産業支援センターでは、2021年11月17日に第7回「福井ベンチャーピッチ」を開催いたします。登壇及び聴講に興味のある方は、ぜひお気軽にお問い合わせください。



ホームページからも申込みOK
https://www.s-project.biz/seminar/2021-9-11
執筆者：新産業支援部 ベンチャー・EビジネスG 岡田留理

よろず支援拠点
経営Q&A

商標編

商標とは何か

エレクトーン、ウォシュレット、バンドエイド、宅急便…これらは全て商標登録されていて一般名称ではありません。

エレクトーン→YAMAHA(電子オルガン)
ウォシュレット→TOTO(温水洗浄便座)
バンドエイド→ジョンソン・エンド・ジョンソン(絆創膏)
宅急便→ヤマトホールディングス(宅配便)※()内は一般名称。

商標とは、自己の生産・販売・取扱い等であることを表すために、商品につける、その事業者独得の標識のことで、その商品が「誰が提供するものなのか?」「誰が提供しているサービスなのか?」を消費者に表す標識(マーク)を意味します。

日本では特許庁に登録を出願して認められたもので、文字や図形などのマークと、それを使用する商品や役務(サービス)の組合せで構成されます。指定商品・指定役務は一定の基準で分類されており、現在45の区分があります。商標登録を出願する際は、どの区分で登録するかを指定します。少なくとも1つの区分を指定することが必要で、複数の区分を指定することもできます。

商標登録の仕組みと手順

商標登録は特許庁に出願し、審査を受けて登録査定となれば認められます。その手順としては、

- ①登録する区分を選定する
- ②登録しようとする名称が既に登録されているかどうかを調査する
- ③登録しようとする名称が登録可能かを調査する
- ④出願書類を作成して出願する

という流れです。弁理士に依頼してこれらの手続きを代行してもらうことが多いですが、各都道府県に設置されている知財総合支援窓口には専門の相談員が配置されていて、無料で相談することができます。相談員の支援を受けながら自分で出願することも可能です。

- 出願した商標が登録できるかどうかを審査する基準は、称呼、外観、観念の観点から既に登録されているものとの類似性がないか。
- 普通名詞や慣用されている言葉、品質や原材料を示す言葉など、他社との識別性が認められない、独占に適さない言葉でないか。



自社で10年以上使っているブランド名があるのだが、先日、知人から「商標登録はあるのか」ということを尋ねられた。ただ、商標の意味や登録手続きもわからないので、何もしていない。商標を登録すると、どういう効果があるのだろうか?

という2つです。読み方が似ている、マークの見た目が似ている、意味合いが似ているもの、他社との識別ができないもの、公序良俗に反するものなどは登録されないということです。

商標権の効力が及ぶ範囲	商品又は役務		
	指定商品・役務	類似	非類似
登録商標	独占的に使用 他人の使用を排除	他人の使用を排除	×
類似	他人の使用を排除	他人の使用を排除	×
非類似	×	×	×

出典:特許庁ホームページ

特許情報プラットフォーム J-PlatPat(ジェイプラットパット)
https://www.j-platpat.inpit.go.jp/にアクセスすれば、商標として既に登録されているかどうかを検索することができます。

商標登録の意義

企業ブランドや商品ブランドを保護し、他社のタダ乗りを防ぐためには商標登録は不可欠です。

商標として登録できれば、同じ区分の商品や役務に対して同じ名称を自分以外の個人や事業者が使うことはできません。警告文を送付して、使用をやめさせることができますし、無視すれば訴訟を起こして使用をやめさせるだけでなく、損害賠償を請求することもできます。また、他社がよく似た文字やマークを商標として登録することも防ぐことができます。

また、既に登録されている商標がなく、登録も認められない場合は、誰でも自由に使うことができるので、安心して使えます。

福井県よろず支援拠点では、商標などの知的財産の保護や活用のご相談に専門家が無料でお応えしています。お気軽にお問い合わせください。

お申し込み・お問い合わせ先

福井県よろず支援拠点
TEL:0776-67-7402
E-mail:yorozu@fisc.jp



今月の注目企業

「魚食回帰」願い、新ブランド続々と

小浜海産物株式会社

今回訪ねたのは、『小鯛ささ漬』などで知られる小浜市の小浜海産物です。同社はこの数年、日本人の食生活が肉食中心に向かう中で、新規顧客の掘り起こしに向けた商品開発を実行中。魚食回帰を願い指揮を執る代表取締役の西野弘純氏に、取り組みの発端や今後の展望について話を伺いました。



代表取締役 西野 弘純 氏

商品群を2つの軸で再編 働く女性意識したブランドも

取り組みとして西野氏がまず挙げたのは、自身が旗振りする「リブランディング会議」です。立ち上げのきっかけは社長就任の2018年、ふくい産業支援センターの登録専門家（中小企業診断士）の協力を得て行った経営診断でした。

「丸海」印も商品ごとに微妙に違う書体が使われるなど統一感のない状態が続いていたのです。

そこで、高級伝統ラインとチャレンジラインという2つの軸でブランドを整理。後者に「micolle（ミコレ）」と名付け、30代〜40代の女性をターゲットに据えた開発を進めることとしました。

普及価格帯の売価設定となるよう、製造工程の機械化が期待できる大型魚から素材を選定。2人前程度の食べきりサイズとし、働く女性にとって使いやすい商品となること

を目指しました。ふくい産業支援センターが実施する『令和2年度ふくいの逸品創造ファンド事業』採択でスライサー導入も実現し、海鮮向け商品「さかなどん」製造の効率化につながりました。



女性をターゲットにした「Micolle」。ブランド名の由来は、真味は淡（しんみこれたん）という理念です。



同社HPはコチラ! ECサイトはコチラ!

小浜海産物株式会社

所在地：小浜市川崎2-1-1
 代表者：西野弘純氏 電話番号：0770-52-1600
 資本金：3,000万円 従業員数：165名
 事業内容：活魚・鮮魚・冷凍魚等卸売、水産練製品・生鮮珍味等製造・小売



Micolleの商品の一つ、「さかなどん」。手軽に海鮮丼を作ることができます。

ナーの協力を得てパッケージも新たに制作。今年4月より、市内の直売店、自社サイト、市内の道の駅などで販売を展開しています。コロナ禍による「巣ごもり需要」の伸びなどを背景に、西野氏は「チャレンジラインで取り込んだ顧客を、ゆくゆくは高級伝統ラインへ誘導できれば」と話します。

ヒラメの陸上養殖を本格化 海面養殖の課題克服へ

同社は他方で、世界的な魚食需要の高まりなどを背景に、魚の陸上養殖にも力を入れ始めています。「欧米ではヘルシー志向から魚に注目が集まっており、日本勢が海外勢に競り負けるケースがしばしば起きています。高品質の魚を安定供給す

るための方策として、養殖にもっと力を入れたいとプランを練っていました。しかし一般的な海面養殖には、天候不順や病気のリスク、魚が残したえさによる海洋汚染などの課題があったのです。

そこで同社は、そうした課題の克服につながる陸上養殖に着目。広島県にある事業者の協力を得て、酸素ナノバブルを用いた陸上養殖に取り組みことにしました。西野氏は「水がほぼ無菌状態となるため薬剤を使う必要がなく、浮くえさを使うことから水質悪化のおそれもあります。SDGsの観点からも陸上養殖は有望」と説明します。

小浜市阿納尻に敷地面積約2000平方メートルの養殖プラントを新たに設け、2019年12月にヒラメ6000尾、翌年5月にヒラメ1万2000尾を導入。同年11月、「八百姫ひらめ」として販売を始めました。福井市内のスーパーマーケットや飲食店などにも販路を広げており、販売先から好評を得ているそうです。

西野氏は「取水した海水の温度が予想以上に高く、1年目は『思ったより難しかったな』という手応えでした。しかしながら、日本の水産業の現状を考えると陸上養殖には大きな可能性がある。日本の食問題を乗り越える一つの解になるのではないのでしょうか」と話します。

商品開発に若手の視点投入 県立大との協働事業にも期待

同社では、リブランディング会議と同じくして「開発マーケティング会議」も立ち上げ、現在、20〜50代の6人からなる企画チームを編成。商品開発に女性社員と若手社員の視点を投入し、少子高齢化や食生活の多様化などに直面する水産業の課題に立ち向



陸上養殖の餌やりの様子。



陸上養殖施設の上空写真。敷地面積は2000mを超える。



第37回

福井県のグッドデザインを紹介
グッドデザインシンキング



2020年度グッドデザイン賞受賞

便器 [プティトワレ] / 株式会社ジャクエツ

排泄のためのデザインとして、子どもが排便しやすい便座形状を実現するため、座面着座時の体圧分散、坐骨結節間距離の計測などを行い、座るだけで自然と排泄しやすい姿勢が取れるように検証した。結果、やや前傾の姿勢を取ることで排泄を促すようになった。また、衛生管理のために、ワンタッチで便座が取り外せる構造を開発、かつ全体的に凹凸の少ない形状として清掃性を高めている。子ども特有の使用後の流し残しに対しても、タンクの洗浄レバーを大小を流し分けしない下向きへの一方向式とし、指をかけやすい形状でデザインした。小便器は、フチに返しがなく、壁面に汚れが伝いにくい設計とし、且つ目皿奥部が少し浮く形状にすることで清掃時に取り外しやすくし、よりスムーズな日常清掃を可能にした。意匠デザインは、多様なトイレ空間にマッチする、シンプルかつ優しい造形を目指した。成果として、子どもも大人も皆が使いやすく心地よいデザインを実現した。

【審査委員の評価】

担当審査委員 | 田子 學 佐藤 弘喜 鈴野 浩一 長町 志穂

創業から 100 年、保育施設から、文化施設・商業空間に至るまで教育のプロと共に子どものための環境づくりに従事してきた企業が、自社の強みを活かすべく取り組んだ製品開発の誠実な姿勢が、高く評価された。床を濡らさないドライ式清掃対応で、教員やスタッフによる手入れも負担が少なく、ユーザーからの共感、心地よさや安心感を担保する配慮も備えている。子どもを思い、大人を思いやる解決策があるのだということを示唆する好例だ。丸みのある美しいデザインに留まらず、デザインのポイントとして排泄を助け、清掃を容易にし、設置の工事の簡易さを丁寧に考えられた形となっている点が素晴らしい。

こんにちは! **FOIP** です。
ふくい宇宙産業創出研究会

《熱真空試験見学会開催》

福井県では、人工衛星製造拠点化を目指し、ふくい宇宙産業創出研究会において超小型人工衛星に関する情報提供や共同研究などを行っています。令和2年4月から7月にかけて、『人工衛星設計基礎論2020』をオンラインセミナー形式で実施し、人工衛星設計の基礎知識を習得していただきました。

この延長として、令和3年3月5日(金)、環境試験の見学会を開催しました。日頃は見ることのできない超小型人工衛星の製造開発現場を、県内企業の経営者や技術者に公開することで、新たに宇宙産業への進出を検討する新戦力企業を募集しました。

◇福井県で製造する衛星のエンジニアリングモデル
熱真空試験見学

(1)講義「宇宙環境と各種環境試験」

福井大学 産学官連携本部 特命准教授 青柳 賢英 氏

(2)熱真空試験現場見学

青柳特命准教授、工業技術センター職員



《振動試験現場見学会開催》

同じく、『人工衛星設計基礎論2020』の延長として、令和2年12月9日(水)に振動試験の見学会を開催しました。

◇福井県で製造する衛星のエンジニアリングモデル
振動試験の見学

(1)講義「宇宙環境と各種環境試験」

福井大学 産学官連携本部 特命准教授 青柳 賢英 氏

(2)「OPTIMAL-1 衛星エンジニアリングモデル試験現場見学」

工業技術センター職員

(3)「福井県における宇宙産業創出の取組み紹介」

工業技術センター職員



お問い合わせ先

(公財)ふくい産業支援センター
オープンイノベーション推進部 ネットワーク推進室 松井、未定、岸本

DXデビューしませんか？

～県内企業のDX導入事例の紹介～

ふくいDXオープンラボは、DX技術の導入支援や人材育成をご支援しています。
ここではDXラボを活用した県内企業のDX導入事例を紹介します。

携帯型IoT工程管理システム活用により 勤怠管理および工程管理の見える化

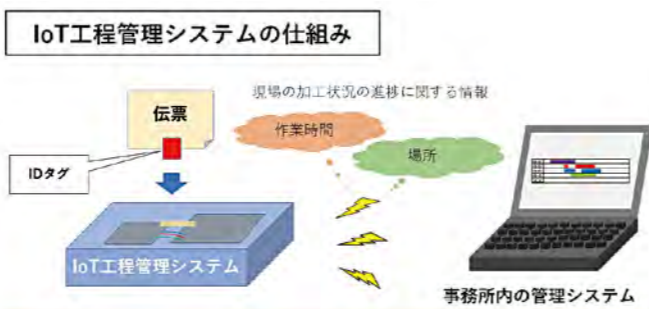
当社は眼鏡など金属製品のめっきや塗装加工を行う企業です。従来、工場内では加工工程ごとに作業場所が離れているため、現場の進捗管理がしにくいという課題がありました。そこで、当社では伝票につけたIDタグをかざすだけで、加工工程を記録できるIoTシステム（※詳細は以下「導入機器」参照。）を導入しました。導入した結果、現場での加工状況の進捗を見える化することができ、リアルタイムで確認できるようになりました。

《導入機器》携帯型IoT工程管理システム

システム構成はRaspberry PiやRFIDリーダ、バッテリー等のデバイスで、これらをボックス内に収納しています。RFIDが組み込まれたカードをリーダにかざすことで、RFIDのデータを事務所の管理システムに送信する仕組みです。



工程記録画面



IoT工程管理システムへ伝票に付けたIDタグをかざすだけで、事務所内管理システムにデータが送信され、作業時間や場所など現場での加工状況の進捗が記録できる。

携帯型IoT
工程管理システム

担当者の声

当初は、作業員がIDカードを置くと工程実施の記録を開始し、取り去ると記録を停止する機能を持つ市販システムの導入を検討しました。しかし本システムは設置場所を固定する必要があり、作業員は持ち場を離れて設置場所まで行くのが困難なことから、持ち運び可能で現場でも記録できる「携帯型IoT工程管理システム」を作製しました。今後もボックスの小型化など、改良を重ねていく予定です。

会社概要

株式会社ワカヤマ [めっき・塗装業]

鯖江市石田下町43-6-1 代表者: 若山健太郎氏
TEL: 0778-51-9555 URL: <https://www.wakayamapp.jp>
E-mail: main.wpp@wakayamapp.jp

お問い合わせ先

(公財) ふくい産業支援センター DX推進チーム
TEL: 0776-67-7416 FAX: 0776-67-7439 E-mail: dx-t@fisc.jp

オンライン総合相談窓口

4月からスタートした産業支援センターの 「オンライン総合相談窓口」のご紹介

オンライン総合相談窓口では「頑張る県内中小企業」の課題解決をサポートしています！

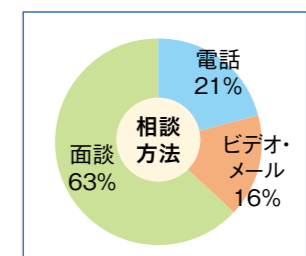
「商品開発や販路開拓の進め方」「生産現場の見える化や現場改善」「事業計画や経営戦略立案」「新分野進出」「新規創業」「各種補助金の活用」等、県内企業の皆様が抱える様々な課題にセンターの総合相談コーディネーターがご相談に対応しています。

《総合相談コーディネーター》

月曜日	火・水曜日	水曜日	木曜日	金曜日	水曜日(嶺南)
加藤 永俊	佐治 眞悟	佐々木 孝美	津田 均	松田 博史	北島 宏樹
【専門】 経営全般、創業支援、マーケティング、経営革新、事業承継	【専門】 経営全般、技術全般、生産管理、ISO認証取得	【専門】 経営全般、創業支援、IT活用、SNS活用	【専門】 経営全般、マーケティング、流通・小売・サービス業の相談	【専門】 経営全般、製造業の現場改善、生産管理、事業承継	【専門】 経営全般、創業支援、IT活用、テレワーク導入
【資格】 中小企業診断士、JMAA認定M&Aアドバイザー	【資格】 中小企業診断士、技術士(総監・機械・建設)	【資格】 中小企業診断士ほか	【資格】 中小企業診断士ほか	【資格】 中小企業診断士、ものづくり改善インストラクター	【資格】 中小企業診断士、ソフトウェア開発技術者(IT系)

ご相談は原則として電話・ビデオ通話などのオンライン相談での対応とさせていただきますが、面談による相談をご希望の場合も対応させていただきます。

初めてのご相談は、面談をご希望される方が多くいらっしゃいますが、2回目以降はオンライン相談に切り替える方も増えています。4月～5月の相談は全体の37%が電話・ビデオ通話・メール相談となっています。(右表)ぜひ、オンラインでのご相談もご検討ください。



相談無料
秘密厳守

相談予約は
こちらから！



相談者の声

相談内容にマッチするコーディネーターさんをご紹介いただけました。どんな質問にも的確に回答、アドバイスいただき、無事補助金申請を行うことができました。また何か困りごとがあった際には相談させていただきたいです。

まずは「オンライン総合相談窓口」までお気軽にご相談ください！

嶺北 《事前予約制》

TEL 0776-67-7421



相談日時: 毎週月曜日～金曜日 9:00～17:00
相談場所: 福井県産業情報センター 3F 総合相談窓口
(坂井市丸岡町熊堂3-7-1-16)

※コーディネーターの当番日は右記の総合相談窓口HPからご確認いただけます。事前予約の方優先の対応となりますのでご予約をお勧めします。

総合相談窓口HP→



嶺南 《事前予約制》

TEL 0770-22-0031



相談日時: 毎週火曜日・水曜日・金曜日 9:00～17:00
相談場所: アクアトム2F 嶺南サテライトオフィス
(敦賀市神楽町2-2-4)

※水曜日: 前野コーディネーター、火曜日・金曜日: よろず支援拠点のコーディネーターが相談対応しております。

相談や企業訪問等で不在にしている場合がありますので、面談での相談をご希望の場合は必ず事前予約をお願いします。

福井県中小企業スマート省エネ促進事業

省エネガイドラインを
活用して経営力強化だ!



パッ!と見て分かる 省エネ実践

新たに3業種追加しました!



R3: 建設鉄工・染色燃糸・スーパーマーケット
R2: 織物・プラスチック・介護施設

ダウンロードはこちらから↓

福井県環境政策課 省エネ で検索

【事業に関する問合せ先】
福井県 安全環境部 環境政策課
Tel:0776-20-0302

【省エネガイドラインの相談窓口】
(一社) ふういエネルギーマネジメント協会
Tel:0776-50-2808

対応
無料

KUMANDO WEEK 2021

9月10日は
Kumandoの日

2021

9/6~12
MON SUN

kumando-week とは?

県内の情報化拠点として、県内企業のIT活用を推進してきた福井県産業情報センターでは、9月10日を「Kumando(くまんど)の日」とし、その週間に合わせてITやビジネスにまつわるセミナーやイベントを、他の機関とも連携しながら多数行います。IT関係者や経営者の方はもちろん、子どもたちが楽しみながら学べる体験イベントも開催。新たなビジネスの息吹を感じ、交流していただける1週間です!

その他関連イベントが
目白押し!

<https://www.fisc.jp/kumandoweek/>

お問い合わせ (公財) ふうい産業支援センター 総務部
TEL 0776-67-7414 FAX 0776-67-7419
E-mail kumando-week@fisc.jp



特別講演会 9/6 (MON)

中小企業のDX戦略
~わが社の実践術~

講師 諏訪 貴子氏
(ダイヤ精機株式会社 代表取締役)
時間 14:00~16:00
会場 マルチホール



各イベントの詳細情報や追加イベント情報は、ホームページをご覧ください。(ホームページからのお申込みも可能です)

著書
「町工場の娘」は
NHKドラマ10で
ドラマ化

福井県からのお知らせ

令和3年度の個人事業税の納税通知書は9月10日以降に届きます。

第1期分の納期限は9月30日です。

※第2期分は11月に納付通知書が届きます。(納期限は11月30日)

スマートフォンの決済アプリで
県税の納付ができるようになりました!

コンビニ等で納付

対象税目

個人事業税、不動産取得税、
自動車税(種別割)

※税額30万円以下のみが可能です。

対象アプリ

PayPay、モバイルレジ、LINE Pay

くわしくは

福井県 キャッシュレス納税

検索



お問い合わせ

福井県税事務所 TEL 0776(21)2512
嶺南振興局税務部 TEL 0770(56)2223

中小企業・小規模事業者の皆さまに

伴走支援型特別保証のお知らせ

福井県信用保証協会が公的な保証人として、金融機関からの資金調達をサポートします。

伴走支援型特別保証

保証(融資)限度額	4,000万円
保証(融資)期間	10年以内

相談窓口も開設しております

経営改善や事業承継等、経営に関するお悩みがありましたら
お気軽にご相談ください。



お問い合わせ

福井県信用保証協会

〒918-8004 福井市西木田2丁目8番1号(福井商工会議所ビル内)
TEL 0776-33-1800(代表) <https://www.cgc-fukui.or.jp>



情報収集と情報発信、企業・イベントPR等に！
「ふくいナビーふくいの企業支援施策を見つけるためのポータルサイト」
をご活用ください

(公財)ふくい産業支援センターでは、県内企業の皆さまの経営に役立つ情報を集めたポータルサイト「ふくいナビ」を運営しております。

「ふくいナビ」では、下記のようなサービスを提供しておりますので、ぜひご活用ください。

イベント情報や公募情報などをまとめて見られる！

県内中小企業支援機関による講演会・セミナー等のイベント情報や、国・県等による助成金等の公募情報など、経営に役立つ情報が盛りだくさんです。

メルマガ、メーリングリストなどを無料で提供！

企業と顧客、あるいは企業同士でのコミュニケーション・ツールとして利用できる、メールマガジンやメーリングリスト等の機能を、無料で提供しています。

県内企業の情報を自ら発信！

県内中小企業の皆さまが、自社で開催するイベントや新製品の情報などを自ら発信することができます。



毎週月曜日、「ふくいナビ」の情報の中からタイムリーな情報をお届けするメールマガジン『週刊!ふくいナビ情報』を配信しています。配信をご希望の方はメールアドレスをご登録ください。

お問い合わせ先 ふくいナビ運営事務局
【(公財)ふくい産業支援センター 総務部】
TEL.0776-67-7414 E-mail info@fukui-navi.gr.jp



本誌「F-ACT(ファクト)」を活用して会社をPRしよう！

企業情報メール便

販路開拓のチャンス！
本誌にチラシを同封できます

本誌では、企業情報メール便(チラシ同封サービス)を毎月実施いたします。配送先は、県内事業所約1,700社です。この機会に、貴社の商品・サービスを幅広く紹介しませんか？



●次回実施号
VOL.49 9月27日発行予定
チラシ提出締切日：9月17日(金)
チラシ1,700部をご提出
(持参または配送) 願います。

同封するチラシ・パンフレットのサイズ	料金(税込)
A 4判以下のチラシ	6,600円
A 4判超～A 3判以下のチラシ (二つ折にしてA4判以下のサイズにすること)	9,900円
A 4判以下のパンフレット (10ページ程度まで)	13,200円

※チラシ・パンフレット1種類当たり1回分の同封料金です。

ご利用を検討の方は、事前に、電話または電子メールにてご連絡ください。1号につき約10社まで受け付けます。

なお、申込状況および掲載内容によりお断りする場合があります。

お問い合わせ先 (公財)ふくい産業支援センター 総務部 F-ACT担当
TEL:0776-67-7414 e-mail:kouhou-g@fisc.jp

本誌に関するお問い合わせは

fisc 公益財団法人 ふくい産業支援センター <https://www.fisc.jp/>
総務部 TEL 0776-67-7414/FAX 0776-67-7419/E-mail:kouhou-g@fisc.jp
〒910-0296 福井県坂井市丸岡町熊堂第3号7番地1-16 (福井県産業情報センタービル内)

皆様の声を
お聞かせください!!

「〇〇が面白かった、ためになった」、
「△△をもう少し□□にしたらどうか」、
「●●のテーマについて紹介して欲しい」、
「▲▲会社がやっている■■■について取り上げて欲しい」など、本誌を読んだ感想や、要望など、皆様のご意見をお待ちしております。

編集後記

こんにちは！最後まで読んでいただきありがとうございます。

今回の特集は、ニューノーマル時代の企業動向と題し、福井県内での事例をご紹介しましたが、いかがでしたでしょうか。新型コロナウイルスの感染拡大から1年以上が経過。まだまだ予断を許さない状況の中、ワクチンの接種が新型コロナウイルス収束の鍵ともいわれていますが、一度変わった価値観や考え方は元には戻らないとも言われていますね。こうした中、収束後も見据えてサービス・製品を展開する、また同じような状況となった時に備えることが大切だと取材を通して感じました。取材にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

ふくい産業支援センターでも、6月14日にDXオープンラボを開設するなど、新たな支援事業を進めていますので、ぜひご利用をお願いいたします。今回の特集内容が読者の皆さまのお役にたてば幸いです。

次号の発行は9月27日です。今後ともご愛読、よろしく願いたします。



げんきときれいをつくるカフェ Re echo

女性を支援する地域カフェがオープン

今年2月、女性の心身を元気にする地域カフェとして、「げんきときれいをつくるカフェ Re echo」がオープンしました。店主青山理恵子さんの、女性が自分の心身と向き合う時間を作りたいという想いから開業に至りました。週替わりのランチメニューには薬膳の考え方が取り入れられており、季節ごとに取りべき栄養素を補う食材が入っています。他にも、薬剤師監修のハーブティーや福井県産のなつめを使用した薬膳チョコケーキなど、からだに優しいメニューが並びます。

看護師資格を持つ青山さんの人脈を活かし、月に1回、「保健室カフェ」というイベントも行っています。「今回の新型コロナウイルスの感染拡大で、自分の健康は自分で守らなければならない」という意識が芽生えたのでは、と思います。ただ、健康に関する講座やセミナーは敷居が高く、受ける人も身構えてしまう。気軽に来れるカフェで健康や自分のからだを知る機会を作りたい」と青山さんは話します。「今後は、保健室カフェをもっと多くの人に知ってもらえるよう頑張ります。今は自分の横のつながりのみで開催していますが、このカフェで健康に関する講座をやりたい、と言ってもらえるような場所にしていきたいです」と今後を展望します。

自分の心とからだに向き合う時間を提供してくれる「Re echo」、皆さんも一度足を運んでみてはいかがでしょうか。

活用事業：令和2年度 創業支援事業

話題の
新スポット巡礼
No.20

県内企業が打ち出した気になる新スポットに、(C)編集担当が訪問。その空間に込められたコンセプトやこだわり、企業の想いをお届けします。

ご来店
お待ちしております！



↓ Facebookはコチラ!



↓ インスタはコチラ!



げんきときれいをつくるカフェ
Re echo

住所: 福井市高木中央2丁目3801-1
TEL: 0776-92-0277
営業時間: 11時～15時
定休日: 月曜日

好評配信中!! あなたの暮らしに“つかえる”アプリ

 福邦銀行 公式スマホアプリ

FUKUHO パーク
ふくほう Park

POINT
1

べんり!

福井のトレンド情報配信!

月刊URALA編集!
暮らしに役立つ情報をお届け。

POINT
3

かんたん!

残高・明細照会も
スマホで!

口座残高と入金明細を
スマホから24時間確認OK!



POINT
2

おトク!

地域のお店の
クーポン配信!

アプリ限定のクーポンを多数掲載!
お気に入り、検索機能でもっと便利に。

さらに!

おトクな情報を
プッシュ通知で
お届け!



口座がなくても **無料** で使える!!

登録不要で、今すぐご利用いただけます。



ふくほう
Park

今すぐダウンロード!

ふくほうパーク 検索

iPhoneの方



Androidの方



※残高・明細照会には、口座の登録が必要です。
※Android、Google playおよびGoogle playロゴは、Google LLC.の商標です。Apple、Appleロゴ、およびiPhoneは米国その他の国で登録されたApple Inc.の商標です。App StoreはApple Inc.のサービスマークです。
※推奨機種はiOS9.0以上(iPhone5sおよびiPhone6以降の端末)およびAndroid5.0以上となります。docomo、au、softbankから発売された端末が対象となり、タブレットは推奨環境ではありません。お使いのOS・機種が対応可能かは当行ホームページにてご確認ください。
※本アプリは無料でご利用いただけますが、アプリのダウンロードやご利用にかかる通信料はお客さまのご負担となります。詳しくは、福邦銀行のホームページをご確認ください。